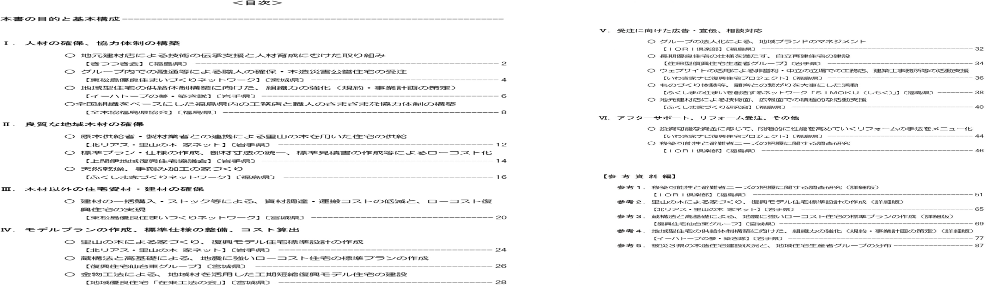
地域型復興住宅による「住まいの復興」活動支援マニュアル

平成２６年３月

編集・発行（株）市浦ハウジング＆プランニング
協　力　岩手県地域型復興住宅推進協議会
宮城県地域型復興住宅推進協議会
福島県地域型復興住宅推進協議会



＜目次＞

本書の目的と基本構成

Ⅰ．人材の確保、協力体制の構築
○ 地元建材店による技術の伝承支援と人材育成にむけた取り組み
【きつつき会】〔福島県〕 2
○ グループ内での融通等による職人の確保・木造災害公営住宅の受注
【東松島優良住まいづくりネットワーク】〔宮城県〕 4
○ 地域型住宅の供給体制構築に向けた、組織力の強化（規約・事業計画の策定）
【イーハトーブの夢・築き隊】〔岩手県〕 6
○全国組織をベースにした福島県内の工務店と職人のさまざまな協力体制の構築
【全木協福島県協会】〔福島県〕 8

Ⅱ．良質な地域木材の確保
○ 原木供給者・製材業者との連携による里山の木を用いた住宅の供給
【北リアス・里山の木 家ネット】〔岩手県〕 12
○ 標準プラン・仕様の作成、部材寸法の統一、標準見積書の作成等によるローコスト化
【上閉伊地域復興住宅協議会】〔岩手県〕 14
○ 天然乾燥、手刻み加工の家づくり
【ふくしま家づくりネットワーク】〔福島県〕 16

Ⅲ．木材以外の住宅資材・建材の確保
○ 建材の一括購入・ストック等による、資材調達・運搬コストの低減と、ローコスト復興住宅の実現
【東松島優良住まいづくりネットワーク】〔宮城県〕 20

Ⅳ．モデルプランの作成、標準仕様の整備、コスト算出
○ 里山の木による家づくり、復興モデル住宅標準設計の作成
【北リアス・里山の木 家ネット】〔岩手県〕 24
○ 蔵構法と高基礎による、地震に強いローコスト住宅の標準プランの作成
【復興住宅仙台東グループ】〔宮城県〕 26
○ 金物工法による、地域材を活用した工期短縮復興モデル住宅の建設
【地域優良住宅「在来工法の会」】〔宮城県〕 28

Ⅴ．受注に向けた広告・宣伝、相談対応
○ グループの法人化による、地域ブランドのマネジメント
【ＩＯＲＩ倶楽部】〔福島県〕 32
○ 長期優良住宅の仕様を満たす、自立再建住宅の建設
【住田型復興住宅生産者グループ】〔岩手県〕 34
○ ウェブサイトの活用による非営利・中立の立場での工務店、建築士事務所等の活動支援
【いわき家ナビ復興住宅プロジェクト】〔福島県〕 36
○ ものづくり体験等、顧客との繋がりを大事にした活動
【ふくしまの住まいを創造するネットワーク「ＳＩＭＯＫＵ（しもく）」】〔福島県〕 38
○ 地元建材店による技術面、広報面での積極的な活動支援
【ふくしま家づくり研究会】〔福島県〕 40

Ⅵ．アフターサポート、リフォーム受注、その他
○ 投資可能な資金に応じて、段階的に性能を高めていくリフォームの手法をメニュー化
【いわき家ナビ復興住宅プロジェクト】〔福島県〕 44
○ 移築可能性と避難者ニーズの把握に関する調査研究
【ＩＯＲＩ倶楽部】〔福島県〕 46

【参考資料編】
参考１．移築可能性と避難者ニーズの把握に関する調査研究（詳細版）
【ＩＯＲＩ倶楽部】〔福島県〕 51
参考２．里山の木による家づくり、復興モデル住宅標準設計の作成（詳細版）
【北リアス・里山の木 家ネット】〔岩手県〕 65
参考３．蔵構法と高基礎による、地震に強いローコスト住宅の標準プランの作成（詳細版）
【復興住宅仙台東グループ】〔宮城県〕 69
参考４．地域型住宅の供給体制構築に向けた、組織力の強化（規約・事業計画の策定）（詳細版）
【イーハトーブの夢・築き隊】〔岩手県〕 77
参考５．被災３県の木造住宅建設状況と、地域住宅生産者グループの分布 87

Ⅱ．良質な地域木材の確保

上閉伊地域復興住宅協議会〔岩手県〕

標準プラン・仕様の作成、部材寸法の統一、標準見積書の作成等によるローコスト化

〔概　要〕

被災地である釜石市・大槌町と古くから一つの生活圏（上閉伊地域）を形成していた遠野市の連携により、「上閉伊地域復興住宅協議会（以下、「協議会」）」が結成された。

協議会では、標準設計・標準見積明細書・標準木材調書を整備のうえ、部材寸法の規格化や設備機器を共同購入できる体制を作り、各構成員が地域材を用いた復興住宅を短工期・ローコストで供給できる体制を構築している。

〔取り組み内容〕

標準設計図・標準見積明細書・標準木材調書の整備

協議会は、釜石市・大槌町・遠野市の支援のもと、企画・設計面が不慣れな工務店や大工でも、地域材を用いた復興住宅を短工期・ローコストで供給できるよう、モデルプランの標準設計・標準見積明細書・標準木材調書を整備した。

モデルプランは６タイプあり、最も基本的なタイプは30坪の総２階建てを「約1,000万円／棟（平成25年実績）」で供給することが可能としたが、復興事業の本格化等に伴う人件費・資材の高騰により見直しを迫られているとのことである。

部材寸法の規格化による、木材流通の円滑化・ローコスト化

工務店は、協議会で定める標準木材調書を活用し、木材流通調整を担当する会員（（株）リンデンバウム遠野、代行窓口：釜石地方森林組合）に木材を発注する。釜石地方森林組合ないし（株）リンデンバウム遠野が、グループ内の製材所と調整し、担当を決める。

釜石地方森林組合は、担当製材所に産地証明付き木材を納品する。担当製材所による製材済み木材は（株）リンデンバウム遠野が買取り、遠野木材工業（協）が乾燥し、工務店からの指示を受け遠野木材加工事業（協）がプレカット加工する。

遠野木材加工事業（協）は工務店に、プレカット済み木材一式とその他木材を一括納品する。工務店は、乾燥・プレカット済みの共通規格の構造材等を一括で、かつローコストで購入できることとなっている。

■部材を規格化した木材の流通体制（木材流通グループ）

「標準仕様セット」を設定し、建材・設備機器を共同購入

協議会にて水廻り設備機器を中心に、上限価格を設定した「標準仕様セット」を定め、工務店はグループ内の建材メーカー等から「標準仕様セット」を購入できることとなっている（システムキッチン、ユニットバス、石油給湯器、シャワー便座、洗面化粧台、下駄箱、各室照明器具）。

【グループの概要】
○供給対象地域
岩手県釜石市・大槌町と周辺
○所在地
岩手県釜石市
鵜住居町第3地割8-3
釜石地方森林組合内
○地域型復興住宅の名称
スクラムかみへい住宅
○結成年月
2011年11月
○主たる業態
林業・木材加工・設計事務所・工務店の連携業務
○グループ代表者
柏舘 [illegible]
（㈱アルファシステム代表取締役）
○会員数
64社
○グループ事務局
高橋 [illegible]
[TEL]0193-28-4244
[FAX]0193-28-2901
[E-mail]
Kamamori07@kamamorikumi.jp

14

地域型復興住宅による「住まいの復興」活動支援マニュアル作成

工期　　2013年9月～2014年3月

東日本大震災による甚大な被害を受け、住宅復興に向け、平成23年度に岩手県、宮城県、福島県において「地域型復興住宅推進協議会」が組織され、地域の川上（木材供給）～川下（設計・施工）の事業者等が連携して組成する「地域住宅生産者グループ」が公募・登録された。

各々の地域住宅生産者グループは、それぞれに復興住宅の供給に向けた取り組みを行っているが、既に川上～川下が連携した生産・供給体制を確立し、計画的に住宅建設に取り組んでいる先導的なグループから、今後生産・供給体制を整えて行かなければならない初動期のグループまで、さまざまな段階のグループが混在している状況にある。

本書は、地域における木造住宅の生産・供給体制の整備に向けた方策について、その先進的な取り組みの具体例を中心に整理・紹介することにより、さまざまな段階・状況にある地域住宅生産者グループが、より合理的かつ実効性のある活動を行うために参照できるよう、構成している。

©ICHIURA HOUSING & PLANNING